

令和 2 年 4 月 17 日

教 育 長 様

研究コース
グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
661456

代表者 校園名 : **大阪市立今里小学校**
 校園長名 : **山口 祐子**
 電 話 : **06-6981-8800**
 事務職員名 : **粟田 有加**
 申請者 校園名 : **大阪市立今里小学校**
 職名・名前 : **主務教諭 池内 一尊**
 電 話 : **06-6981-8800**

令和 2 年度 「がんばる先生支援」研究支援 申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	グループ研究B	研究年数	新規研究（1年目）
2	研究テーマ	「G I G Aスクール構想」を想定した 遠隔授業による新しい授業スタイル創造			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を端的に記載してください。</p> <p>文部科学省が「G I G Aスクール構想」を掲げ、2023年度には児童一人一台にパソコンなどの端末が整備される予定である。そこで、「協働学習」におけるICT機器の効果的な活用方法に着目し遠隔での授業や交流を行う。</p> <p>○今里小学校と南港桜小学校が共同で、児童が主体的にまとめた情報を遠隔授業を通して発表・交流し、自分たちが収集した情報や、作成した資料と比較・検討することでより深い学びへつなげる。</p> <p>○それぞれの学校が行った社会見学や学校行事等を交流することで、地域や学校の特徴の違いを知り、比較することで深い学びへつなげる。</p> <p>○今里小学校と南港桜小学校の交流以外にも、それぞれの学校が他校や他地域等と遠隔で交流したことを交流することで、交流の範囲を大きく広げる。</p>			
4	研究内容	<p>継続研究は、前年度の成果と課題を分析した内容を踏まえて記載してください。</p> <p>○他校との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会見学や宿泊行事での学び、学校行事や校区の様子などをプレゼンテーションの形にまとめ、遠隔でつながった他校と互いに交流しあう。 ・話し合い活動の単元を遠隔授業で他校と同時に進めることで、より多くの意見を交流し深い学びへつなげる。 <p>○人権教育を軸にした交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度、今里小学校は修学旅行を広島方面に変更した。そこで、修学旅行にむけて広島市の小学校と遠隔授業を用いて交流を深めることで、修学旅行への取り組みを充実したものにする。また、修学旅行当日の交流や修学旅行後の交流も計画する。 <p>○大学との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の一環として、園田学園女子大学と遠隔授業を行う。大学生は、小学生のころどんな職業に就きたかったのか、今現在はその夢がどのように変わっていったのかなどを交流することで、自分のこれから生き方を考える機会とする。 <p>○その他の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や企業と遠隔でつながることで、現地まで行くことが難しいところや、本校まで来校してもらうことが難しいところとも積極的に交流する。 			

研究コース

グループ研究B

代表校校園コード

661456

代表校園

大阪市立今里小学校

校園長名

山口 祐子

		日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。
5	活動計画	<p>5月 研究テーマ・研究の柱・実践内容・見込まれる成果等の検討 遠隔会議による研究推進全体研修会（今里小学校・南港桜小学校）</p> <p>5月 遠隔による研究授業年間計画作成合同会議 (公開授業に向けた授業者、指導案のひな型、研修日程・内容等) 園田学園女子大学教授招聘 研修会・打ち合わせ 児童事前アンケート</p> <p>6月 広島市の小学校との交流開始 （年間5回程度） プログラミング教育等による他校との遠隔授業</p> <p>7月 園田学園女子大学と将来の夢についてキャリア教育（今里小学校・南港桜小学校）</p> <p>9月 宿泊行事の取り組みを他校（大阪市立南港桜小学校、大阪市立平野西小学校等）と 交流</p> <p>10月 修学旅行のまとめを交流 研究発表会・公開授業（参加者へアンケート） 指導講評・講演会（園田学園女子大学教授招聘）</p> <p>1月 企業との遠隔授業</p> <p>3月 研究の成果をまとめる</p>
6	見込まれる 成果とその 検証方法	<p>大阪市教育振興基本計画に示されている、<u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u>および<u>教員の資質や指導力の向上</u>について、見込まれる成果を端的に記載し、その成果について、客観的な指標により必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。</p> <p>【見込まれる成果1】 他校との交流によるコミュニケーション能力の向上</p> <p>《検証方法》 交流後の児童アンケートで、「他校との交流で考えを広げたり、深めたりできた」の項目を80%以上にする。「他校との交流で学んだことは何か」で具体的に記述する割合を80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果2】 遠隔授業に対する教員の指導力向上</p> <p>《検証方法》 実践後の教員アンケートで、「他校との交流で主体的対話的な学習に効果があった」の項目を80%以上にする。</p> <p>【見込まれる成果3】</p> <p>《検証方法》</p> <p>【見込まれる成果4】</p> <p>《検証方法》</p>

研究コース

グループ研究B

代表校校園コード

661456

代表校園

大阪市立今里小学校

校園長名

山口 祐子

		【見込まれる成果5】								
6	見込まれる成果とその検証方法	«検証方法»								
		【見込まれる成果6】								
		«検証方法»								
7	研究成果の共有方法	<p>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日（令和3年2月22日）までに必ず行ってください。</u></p> <p>○研究発表の日程・場所（予定）</p> <table border="1"> <tr> <td>日程</td> <td>令和 3 年 2 月</td> <td>日</td> <td>場所</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>大阪市立今里小学校</td> </tr> </table> <p>◆代表校園HPでの共有【必須】</p> <p>他の共有方法を計画している場合は記載してください。</p>	日程	令和 3 年 2 月	日	場所				大阪市立今里小学校
日程	令和 3 年 2 月	日	場所							
			大阪市立今里小学校							
8	代表校園長のコメント	<p>新型コロナウィルスの感染拡大防止のための臨時休業が続く中、ICTを活用した課題の共有、遠隔授業、WEB会議は、児童の学習機会の確保や教職員の研究の拡大深化に大きく役立つものであると実感されます。地域や学校の特色等を交流し、自分の地域や学校について改めて見直すとともに様々な地域、様々な立場の人へと視野を広げ、人つながるためのコミュニケーション力を育てる研究を進めたいと考えます。</p> <p>交流校とともに遠隔授業が実施しやすいICT環境を整備し、機会をとらえて様々な地域や人と情報交換することで、教職員の情報活用力、コミュニケーション力、教材開発力の向上にもつながることが期待できます。</p> <p>研究推進にあたっては、園田学園女子大学の堀田博史教授にご指導いただく了承を得ています。</p>								

令和 2 年 4 月 17 日

教 育 長 様

研究コース
グループ研究B
校園コード（代表者校園の市費コード）
661456

代表者 校園名： 大阪市立今里小学校
 校園長名： 山口 祐子
 電 話： 06-6981-8800
 事務職員名： 粟田 有加
 申請者 校園名： 大阪市立今里小学校
 職名・名前： 主務教諭 池内 一尊
 電 話： 06-6981-8800

令和 2 年度 「がんばる先生支援」研究支援 経費執行申請書

◇「がんばる先生支援」として、経費を次のとおり申請します。

研究テーマ	「G I G Aスクール構想」を想定した 遠隔授業による新しい授業スタイル創造
-------	--

費 目	金 額	備 考
8 旅費	5 普通旅費	0
教育センターでの経費執行	計	0 ①
7 報償費	1 報償金	75,000
10 需用費	1 消耗品費	244,000
	4 印刷製本費	0
11 役務費	1 通信運搬費	0
	5 筆耕翻訳料	0
13 使用料及賃借料	1 使用料	0
17 備品購入費	2 校用器具費	281,000
	3 図書購入費	0
18 負担金、補助金及交付金	5 会費	0
学校での経費執行	計	600,000 ②
合 計		600,000 ①+②

研究活動にあたって、どのような目的で、どのような物品を購入するのか、主なものを記述すること。

【報償金】（大学教授）研究活動への指導講師

【消耗品費】（WEBカメラ・ケーブル）各学級の授業用PCとつないで、他校との遠隔授業に活用

【備品購入費】（授業用PC）特別教室用

内訳明細

(R02 様式 2-2)

研究コース

グループ研究B

代表校校園コード

661456

代表校園

大阪市立今里小学校

校園長名

山口 祐子

費目	内容	数量	単価	金額	予定月
8 - 5 普通旅費					
	費目小計			0	
7 - 1 報償金	研究会講師（大学教授）	3	25,000	75,000	9・11・2
	費目小計			75,000	
10 - 1 消耗品費	WEBカメラ	25	6,560	164,000	7
	HDMIケーブル	16	5,000	80,000	7
	費目小計			244,000	
10 - 4 印刷製本費					
	費目小計			0	
11 - 1 通信運搬費					
	費目小計			0	
11 - 5 筆耕翻訳料					
	費目小計			0	
13 - 1 使用料					
	費目小計			0	
17 - 2 校用器具費	授業用PC	1	281,000	281,000	11
	費目小計			281,000	
17 - 3 図書購入費					
	費目小計			0	
18 - 5 会費					
	費目小計			0	
合計				600,000	

令和 2 年度 「がんばる先生支援」研究支援 名簿

代表者	校園名 : 大阪市立今里小学校	校園長名 : 山口 祐子
申請者	校園名 : 大阪市立今里小学校	職名・名前 : 主務教諭 池内 一尊

番号	所 属 校 園 名	職 種	名 前
1	大阪市立今里小学校	校長	山口 祐子
2	大阪市立今里小学校	教頭	川本 直也
3	大阪市立今里小学校	首席	田原 健之介
4	大阪市立今里小学校	主務教諭	藤井 優美子
5	大阪市立今里小学校	教諭	篠木 萌
6	大阪市立今里小学校	教諭	金 玲 佳
7	大阪市立今里小学校	主務教諭	李 貴 子
8	大阪市立今里小学校	教諭	梶野 るい
9	大阪市立今里小学校	主務教諭	池内 一尊
10	大阪市立今里小学校	主務教諭	辻 清可
11	大阪市立今里小学校	主務教諭	瀬古 裕代
12	大阪市立今里小学校	教諭	安藤 七美
13	大阪市立今里小学校	養護助教諭	枡 沙弥佳
14	大阪市立今里小学校	非常勤講師	荒井 由美子
15	大阪市立南港桜小学校	教頭	井後 雅之
16	大阪市立南港桜小学校	主務教諭	藤田 徹也
17	大阪市立南港桜小学校	主務教諭	番野 伸音
18	大阪市立南港桜小学校	教諭	杉本 拓央
19	大阪市立南港桜小学校	教諭	木梨 翔太
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			